

考察

達成度について（A 4点、B 3点、C 2点、D 1点と重みをつけて平均値を算出する。）

【教職員】

- ・36項目の質問に対して、前期・後期ともに33項目が3.2ポイント（達成度80%）を上回っている。全体の平均値は3.59であり、前期比で0.01ポイント下がる結果となった。なお、昨年度の全体の平均値は、前期が3.44、後期が3.69である。
- ・6.「校内の生徒指導体制は機能している。」、7.「生徒の相談等には親身になって対応している。」、28.「管理責任場所の安全管理を確実に実施している。」については、どれも3.9を超えており、日頃から全職員で共通理解を図ったことが指導に生かされたと考えられる。
- ・8.「校内の特別支援体制は十分に機能している。」については、前期と比べ0.25ポイント上昇している。前期の評価を受け、職員個々の意識の向上を図るとともに、関係機関と連携し、専門家の助言を参考にして、特別支援コーディネーターを中心に改善を図ったことが生かされたと考えられる。
- ・32.「PTA活動に積極的に関わっている。」、35.「ボランティア活動を呼びかけ、地域に貢献できる生徒を育てようとしている。」については、前期に比べ大きく下降している（0.3ポイント以上）。これは、保護者の19.「PTA活動に積極的に参加している。」の数値も低く、コロナ渦の影響と社会の流れに伴い、PTA活動については、一年を通じた主な活動がほとんどなかったことが考えられる。ボランティア活動も含め、工夫を凝らしながら、活動を充実させていきたい。
- ・14.「部活動指導を積極的に取り組んでいる。」、15.「生徒会活動への具体的な支援や協力をしている。」については、昨年度、今年度前期に比べ下降傾向にある。また、生徒の6.「部活動に対して意欲的に参加している。」、7.「生徒会活動に対して意欲的に取り組んでいる。」についても同様に、昨年度、今年度前期に比べ下降傾向にある。今後、職員の更なる意識向上と組織的な取り組みの強化を図っていきたい。

【生徒】

- 全体として、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答が80%を越える項目が23項目中15項目となっており、比較的良好な評価結果と言える。
- 9.「悩みや困ったことがあったら先生に相談している（しようと思う）。」については、前期に比べ0.36ポイント上昇している。この項目は、昨年度2.28ポイント、肯定的回答63.5%と低い数値となっており、今年度、教育相談体制の整備を課題とした取り組みが生かされたと考える。しかしながら、肯定的回答が8割を満たない現状があり、今後、更に丁寧な対応を心がけていく必要がある。
- 3.「夢をもっており、夢に向かって努力している。」については、前期に比べて2.2%、昨年度後期に比べて1.8%増えている。しかしながら、肯定的回答が8割を満たない現状があり、肯定的回答をしていない2割の生徒へのアプローチが今後の課題である。
- 16.「授業は楽しい。」、20.「読書の習慣が身についている。」の項目については、前期に比べ数値は減ったものの、昨年度に比べ肯定的回答がそれぞれ1.3%、5.9%上昇している。また、保護者の3.「学校の授業はわかりやすく、熱心に指導している。」87.7%、9.「学校は読書活動を熱心に行っている。」91.7%と、それぞれ前期よりも上昇しており、これは、日々の生徒の姿をホームページ等で積極的に発信している取り組みが一定の評価を受けていると考えられる。今後も、生徒の成長する姿を保護者や地域に応援していただけるよう積極的な取り組みをしていきたい。
- 4.「体育祭や合唱コンクールなどの学校行事は楽しい」、5.「修学旅行や校外学習などの旅行的行事は楽しい」などの行事については「楽しい」と感じている生徒が多い。保護者による評価においても、同様の傾向が見られる。今後も工夫を凝らし、一つ一つの行事を生徒が主体（主役）となって取り組めるよう充実させていきたい。
- 10.「あいさつをいつも心がけている。」、13.「他の人の個性を認め、思いやりのある行動や気持ちを心がけている。」、15.「清掃活動を一生懸命取り組んでいる。」の項目については、肯定的な回答割合が、いずれも93~95%と高い値となっている。日頃の道德の学びや生徒指導の効果が出ているとしたら幸いである。今後も本校の学校教育目標である「夢をもち 自ら伸びる 心豊かな生徒の育成」を念頭に、子どもたちの心を耕す学びを展開していきたい。

【保護者】

- ・全体としては、19項目中16項目で、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答をした割合が80%を越えている。その中でも90%を超えた項目が9項目となっている。なお、昨年度は80%を越えたのは18項目中15項目、90%を超えたのは18項目中8項目だった。
- ・1. 「子どもは生き生きと学校生活を過ごしている。」が、前期に比べ4.8%上昇し91.0%となっている。生徒にとって「希望の登校 満足の下校」となるよう、今後更なる充実を図り、この数値を100%に近づく取り組みを進めていきたい。
- ・6. 「学校は生徒の特性やニーズに応じた支援を行っている。」、13. 「学校は保護者からの連絡や相談に対して、ていねいに対応している。」、16. 「保護者会や面接等の回数・時期・内容等は満足である。」については、どの項目も肯定的回答が91~95%となっており、いずれも昨年度、今年度前期に比べ上昇している。これは、教職員の33. 「保護者からの連絡や相談にていねいに対応している。」の評価ポイント(3.82)からわかるように、日頃から丁寧な対応を心がけている姿勢が一定の評価を受けていると考えられる。今後も家庭や地域と一体となって教育活動の充実に努めていきたい。
- ・11. 「学校の施設・設備は、安全できれいに整っている。」については、前期に比べ5.4%上昇したものの、現状57.1%と低い数値となっており、様々な多くの声を収集しながらしっかりと改善を図っていきたい。

【学校評議員より】

- ・全体的に良好な数値といえる。日頃の学校の(先生方の)の取り組みが数値として表れたと思うので、自信をもって、今後も教育活動に取り組んでもらいたい。
- ・学校が課題として取り組んだことが、教職員、生徒、保護者がともに数値が上昇しており、三者が一緒になって成長していると感じた。信頼関係が構築されているのだと思う。
- ・生徒の「学校生活は楽しい」「夢をもっており…」「授業は楽しい」の項目については、肯定的でない少数の生徒にも目を向けるような取り組みをしたらよいのではないか。
- ・学力向上があるが、生徒が勉強をやらされているのではなく、勉強が苦手な生徒でも、楽しいと思えるような取り組みをしていただきたい。その意味では、生徒同士の教え合い活動は非常に良い取り組みだと感じている。
- ・PTA活動については、他市や他校の状況もよく耳にするが、この学校評価を見ても難しさを感じる。活動があれば、協力してくれる保護者もたくさんいると思うので、学校からも工夫をしてはどうか。